



学校便り 琢磨

令和4年度 第19号 R5.1.25 三豊市立詫間小学校

栄光を讃える！

今週の月曜日に表彰状の伝達を行いました。おめでとうございます。

◎第18回香川県小・中学校総合文化祭

敬称略

展示会	小学校の部	書写	6年	詫間 姫奈	「希望」
			6年	江口 凜音	「銭形砂絵『寛永通宝』」
			4年	詫間 萌奈	「香川用水記念公園」
			3年	福岡 咲月	「サーカスのライオン」
	平面		2年	水口偉三郎	「バツタ」

学校保健委員会

一昨年度、昨年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となってしまった「学校保健委員会」が、3年ぶりに開催されました。1月20日（金）の夜、今年度は、スクールカウンセラーの富家先生に講師をお願いし、保護者の皆様と教員を合わせて26名の参加の中、約45分間、「エゴグラム」について講話をしていただきました。エゴグラムとは、自我状態のエネルギー量を5つの棒グラフで表し、性格特性と行動パターンを自分自身で客観視し、より良い人間関係作りに役立てる検査だそうです。

私は、出張のため、参加することはできなかったのですが、すごく参考になる話だったと、参加した教員から報告を受けました。PTA保体部の皆さん、参加いただきありがとうございました。



ナガレスタジオ学習（6年）

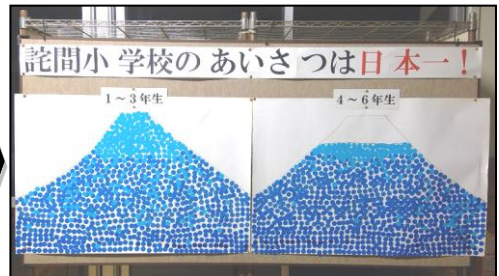


1月20日（金）。6年生は、高松市庵治町にあるナガレスタジオを見学しました。世界的に有名な彫刻家の「流 政之」さんの作品を見て触って、タブレットで撮影し、「家に持って帰りたいお気に入りの作品」を選んで、その理由を発表し合いました。

この日は、石の民俗資料館にも行きました。3クラスを2グループに分けての校外学習でした。

地域の人にあいさつをして「富士山」が完成しました！

地域の人にあいさつ→シールをもらう→富士山の輪郭にシールを貼る→富士山完成=つまり日本一



校長の独り言 その10

ひな壇を出す時期が近づきました

ひな祭りなんて、まだまだ先の話だよなと思っていましたが、節分を過ぎたら「ひな壇」を出すご家庭も多いようなので、後2週間くらいなのですね。我が家でも、節分を過ぎたら、そろそろ、土日を使ってひな壇を出しています。

私には4歳年上の姉がいましたが、昔、我が家には「ひな壇・ひな人形」はありませんでした。というか、「ひな祭り」さえもした記憶がありません。同級生の女の子たちの家で、ひな壇を出しているという情報も入ってこなかったし、その話題すら学校で出ることもしなかったので、一般的な家庭に「ひな壇」はないものだと思っていました。うちの家だけ、ひな壇がなかったのかについてはよく分かりません。とにかく、ひな祭りのイメージは、本やテレビ、歌（灯りをつけましょ、ぼんぼりに…）の世界のことであり、我が家には遠い存在であったことは間違いありません。特に、歌の歌詞の意味はさっぱり分かりませんでした。「5人囃子（ばやし）の笛太鼓（ふえたいこ）…なんじゃそれ??? 5人（で）林（が）増えた、行こう???」といった感じです。

それが、30年くらい前に結婚した時に一変しました。妻の実家には、何と「ひな壇」があったのです。しかも7段もの階段になっている物です。それを持ってきたのです。結婚当時は、せまいマンションに住んでいましたので、こんなに大きい物を飾る場所がないと悩んだものでした。しかし、大きな箱に入った数多くの人形たちを見て、その美しさに驚きました。着物は立派、表情もすごくいい、指先まで緻密な細工がしてあるなど、想像した「人形」とは程遠い素晴らしさでした。それに、金屏風とか鏡とかの家具、ひし餅、牛車とかいろいろな物がそろっていました。購入してから何十年も経っているとのことでしたが、とても美しい状態でした。

その時から、なぜか、私がひな壇を出す係となりました。娘が幼い頃は、娘と一緒に写真を見ながら「灯りをつけましょ、ぼんぼりに…」と歌いながら、「これはどこに置くのかな?」と飾っていたものですが、いつの間にか、私が作業する割合がだんだんと増えていき、今となっては、出すのもしまうのも、私一人の孤独な仕事となってしまいました。しかし、毎年、毎年、同じ作業をしていくうちに、それぞれの人物の持ち物や位置などを完全に覚えてしまいました。ですから、出し入れの時間も、だんだんと短くてすむようになったのです。

今、娘は愛媛県で仕事をしていますので、毎週、週末に家に帰ってきますが、全国どこに転勤するか分からない職場です。就職して2年経ちましたので、この春には転勤するそうです。場所によっては、そんなにちょくちょくは帰ってくるのができないかもしれません。もしかしたら、ひな壇を出すのも、今年が一つの区切りとなってしまうかもしれません。ですから、今年は、節分がすんだらすぐに飾ろうと思っています。娘が結婚したら、このひな壇も一緒に行くのでしょうか。

この前、ひな壇の前に、ひな壇の半分くらいの背の娘が立って、写真を撮ったと思っていたのに、あっという間に二十数年が過ぎてしまいました。